

## 要約 京都の経営経済動向調査結果 (2008. 7. 10)

—2008年4～6月期実績と2008年7～9月期及び10～12月期予想—

京都商工会議所  
担当：中小企業経営相談センター  
電話 (075) 212-6467

### コスト増が企業収益を圧迫 ～ 自社業況は2期連続のマイナス ～

#### 概要

国内景気、自社業況ともに一段と悪化した。原材料・燃料価格の高騰に伴うコスト増加は、依然多くの業種で企業経営に影響を与えている。同期比で見ると、国内景気動向は、バブル崩壊後、金融不安が高まった1998年以来、10年ぶりのマイナス幅。自社業況のBSI値が▲10.0より落ち込むのは、ITバブル崩壊後の2001年以来、7年ぶり。今後の見通しについても、一部の大企業では改善への期待感があるものの、中小企業中心に、各指標とも低調に推移しており、全体として先行き不透明感が強まっている。

(注) 5月下旬から6月上旬にかけ同調査を実施し、623社中530社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店を持つ企業)。また4～6月期のBSI値は、2008年1～3月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

#### I 国内景気動向

4～6月期BSI値は、▲26.5(前期実績▲25.7)となるとともに、全業種で一段と下降した。また今後の見通しについても、7～9月期、10～12月期ともに全業種で大幅な下降を予想しており、先行き悪化が懸念される。

#### II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 4～6月期BSI値は、▲12.8と一段と下降した。7～9月期の見通し(▲13.3)は、全体的に力強さが感じられずさらに落ち込むものの、10～12月期は0.1と、大企業中心にやや持ち直す見通しとなっている。

※自社業況(総合判断)は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

1. 生産・売上高、工事施工高 4～6月期のBSI値は▲8.3と減少した。今後の見通しについて規模別に見ると、7～9月期には、大企業ではほぼ横ばい、中小企業では大幅な減少を見通しており、10～12月期には、ともに増加を見通しているものの、規模間で差が見られる。
2. 製・商品・サービス・請負価格 4～6月期のBSI値は4.4と幾分上昇した。今後の見通しについて業種別に見ると、7～9月期には、製造業、卸売業、小売業を中心に上昇し、10～12月期には、サービス業でも上昇する見通しとなっている。
3. 経常利益 4～6月期のBSI値は、▲12.0と、減益となった企業がさらに増加した。今後の見通しについては、季節的要因もあって10～12月期に旅館・ホテル、食料品卸、小売業などの業種で増益に転じるものの、多くの企業が減益を予想している。
4. 所定外労働時間 4～6月期のBSI値は、▲3.6と幾分減少した。今後の見通しについては、7～9月期は▲5.8と多くの業種で減少傾向であるが、10～12月期は4.9と、ほとんどの業種で増加に転じる見通しとなっている。

5. 製・商品在庫 4～6月期の製・商品在庫は、「適正」とする企業が74.9%と概ね適正水準で推移したが、一部に過剰感が見られた。業種別では、繊維卸、繊維製造、繊維製品製造などの繊維関係と、出版・印刷などで過剰感が見られた。
6. 資金繰り 4～6月期のBSI値は、▲4.7と幾分悪化した。今後の見通しについては、大企業では、今後緩やかな改善傾向が見られる一方、中小企業では今後も悪化傾向を見通しており、規模間で差が見られる。

### Ⅲ 当面の経営上の問題点

第1位「受注・売上げ不振」(53.2%)に続いて、2位に「原材(燃料)高」(52.6%)、第3位に「過当競争」(23.8%)、「製・商品(請負)価格安」(23.8%)がならんだ。なお、前回1位の「原材(燃料)高」が順位を下げたものの、前回調査より高いポイントで挙げられた。

### Ⅳ 雇用人員と設備投資計画(年1回6月時点調査で実施)

#### ■雇用人員

2008年4～6月期の雇用人員は、「増加」21.3%、「減少」17.9%、BSI値1.7(前年同期7.1)とわずかながら増加した。

**業種別** 情報・事業(BSI値15.3)、機械金属卸(13.1)、食料品卸(11.4)、一般機械(11.1)、染色(8.4)、その他製造業(8.4)など多くの業種で増加傾向となった。一方、繊維製造(▲18.2)、木材・木製品製造(▲17.9)、繊維卸(▲17.4)、建設業(▲10.6)、窯業・土石(▲9.1)、繊維製品製造(▲5.6)、運輸・倉庫業(▲1.7)の業種で減少を見せた。

**規模別** 大企業(BSI値4.6)は幾分増加したものの、中小企業(0.6)はほぼ横ばいで推移した。

#### ■設備投資計画

2008年度の設備投資計画は「増額」とする企業15.9%、「減額」とする企業19.0%でBSI値は▲1.6(前年度2.0)となり、減額含みの計画となっている。

**業種別** 繊維卸(▲15.9)、鉄鋼(▲14.3)、不動産(▲11.8)、染色(▲11.8)など多くの業種で減額傾向となっているが、化学・ゴム(10.0)、料理・飲食(10.0)、出版・印刷(9.5)、その他製造業(8.4)などで増額傾向となっている。

**規模別** 大企業はBSI値3.4(前年度4.6)、中小企業は▲3.5(前年度1.1)と、規模間によって差が見られる。

国内景気	実績			予想					
	2008年4～6月期			2008年7～9月期			2008年10～12月期		
	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計	▲26.5	4.9	57.9	▲21.7	5.5	48.9	▲9.5	12.9	31.8
規模別									
大企業	▲20.4	7.3	48.0	▲10.3	10.0	30.6	▲4.7	12.8	22.2
中小企業	▲28.9	4.0	61.8	▲26.2	3.7	56.1	▲11.4	12.9	35.6
業種別									
製造業	▲26.7	4.4	57.8	▲20.4	6.2	46.9	▲8.9	11.1	28.8
卸売業	▲27.6	2.9	58.0	▲20.3	4.3	44.9	▲6.5	17.4	30.4
小売業	▲28.9	3.8	61.5	▲23.1	3.8	50.0	▲3.9	11.5	19.2
建設業	▲25.8	3.0	54.6	▲28.8	3.0	60.6	▲21.2	6.1	48.5
不動産業	▲25.0	5.6	55.6	▲22.2	5.6	50.0	▲11.1	16.7	38.9
運輸・倉庫業	▲28.4	3.3	60.0	▲31.7	0.0	63.4	▲16.7	13.3	46.7
サービス業	▲23.7	10.3	57.7	▲20.2	7.8	48.1	▲7.9	17.1	32.9

自企業況 (総合判断)	実績			予想					
	2008年4～6月期			2008年7～9月期			2008年10～12月期		
	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計	▲12.8	17.5	43.0	▲13.3	11.7	38.3	0.1	25.6	25.4
規模別									
大企業	▲7.8	19.6	35.2	▲1.1	19.6	21.7	6.1	30.6	18.4
中小企業	▲14.7	16.8	46.2	▲18.2	8.6	44.9	▲2.3	23.5	28.0
業種別									
製造業	▲15.3	15.5	46.1	▲10.6	15.2	36.3	▲0.4	24.9	25.6
卸売業	▲13.2	17.7	44.1	▲15.5	5.9	36.8	▲0.1	23.5	23.6
小売業	▲13.5	19.2	46.1	▲15.4	7.7	38.5	5.8	26.9	15.4
建設業	▲25.0	8.8	58.8	▲20.6	2.9	44.1	▲14.8	17.6	47.1
不動産業	▲19.5	5.6	44.5	▲11.1	11.1	33.3	▲5.6	16.7	27.8
運輸・倉庫業	▲5.2	20.7	31.0	▲22.4	0.0	44.8	0.0	24.1	24.1
サービス業	1.3	29.9	27.3	▲14.3	14.3	42.9	7.9	35.5	19.7
雇用人員	B.S.I.値	増加	減少	設備投資計画	B.S.I.値	増額	減額		
総計	1.7	21.3	17.9	総計	▲1.6	15.9	19.0		

※ B.S.I.値 = (上昇[増加、他] - 下降[減少、他]) ×  $\frac{1}{2}$